

渡辺ハウジングOBの皆様と  
未来のお客様にお届けする

# やすらぎ通信

渡辺ハウジング  
03-3959-8743



日増しに暖くなり、春の訪れを感じるこの季節、それぞれの新たなスタートに向け、胸躍る方も多いのではないでしょうか。



今年もそろそろ花便りの届く頃になり、1年を通じ最も華やぐ時を迎えます。

人生の節目の時期に咲く桜には様々な思い出が重なりますね。今年こそはと楽しみにしていたお花見が制限されてしまうのはとても寂しいですが、コロナ終息に向け、もうしばらく我慢



しましょう。

花冷えに気をつけて、お元気で過ごしてください！

## 家を建てる段取り (7)

引き続き、家を建てる際に大切な段取りについて書かせていただきます。どんな段階を経て家が完成するのかを楽しみながらご理解いただければ幸いです。

### 【環境にやさしい家】

この数年、世界のあちらこちらで夏の猛暑やゲリラ豪雨などによる大きな被害が報告されています。

以前から心配されていた地球の温暖化が大きく影響するとされ、それに伴う異常気象に誰もが危機感を感じていることでしょう。

一般の家庭が使う冷暖房も、温暖化の重要な原因の一つと考えられています。

そこで今、高気密・高断熱住宅への注目が益々高まっています。

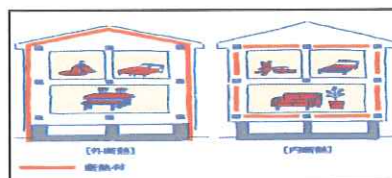


高気密・高断熱住宅とは、断熱材やペアガラス、断熱サッシを使い、さらに気密シートなども使って家の気密性を高め、適温になった空気を逃がさないようにして、冷暖房エネルギーを抑えようとする住宅です。結露が少なくなるので、腐食による家の劣化も防ぐなど、いろいろな長所がある住宅とされています。

ただし自然の空気の動きが非常に小さくなるので、強制的に換気をする必要があります。

また、外断熱と内断熱の2種類があり、それぞれ特徴が異なります。

住宅会社とよく相談し自分の暮らしに合ったスタイルを選びましょう。



※高気密・高断熱の他に、太陽光発電やオール電化住宅なども、クリーンなエネルギーを利用したエコ住宅として、各種の補助金やローン優遇などを受けられる場合もあります。

次回に続く

### 「鶯 (うぐいす)」

春告げ鳥 (はるつげどり) と書くこの鳥は、姿や声が良いので、室町時代から徳川時代に最も盛んに飼育されていました。

秋から冬にかけて「チャチャ」と鳴きますが、春になると声変わりして「ホーホケキョ」と囀るのは雄鳥が雌鳥との出会いを求めて鳴くからだそう。

俗に「梅に鶯」といいますが、梅の木を訪れる目的は、花の蜜を吸う以外に、梅の木に多いとされるアカダニを食べるため、この虫を食べるとホルモンの状態が良くなり、より良く囀るといいます。

気象庁の統計によると、この恋の囀りは、四国・九州で3月上旬、中国・近畿・中部・関東で3月中旬から下旬、そして東北・北海道では4月下旬から5月上旬頃とされています。

又、ホーホケキョの後に、語尾をのぼして「ケキョケキョ」と鳴くのを、鶯の谷渡りといっています。



## 変わらないもの



今年も桜の時期を迎える頃になりました。

昨年の丁度今頃に、初めて「コロナ」という言葉を聞いてから早くも1年が過ぎようとしています。

終息は未だ見られず、第1波、第2波・・・感染の勢いを示すグラフを見ると恐怖心がよみがえります。

私たちの生活も変化を余儀なくされ、疲弊感が募りますね。

さて今回は、仕事に悩む息子とその父親のワンシーンをお届けします。同様の悩みを抱えている方もいらっしゃるかもしれませんが、大丈夫！

ちゃんと見守ってしてくれる人がいます。

父親と僕、それぞれ仕事が忙しく、家でもすれ違いの生活が続き、ゆっくり話す機会がありませんでした。

そんな父親と、時間をとって話す機会を得たのは、恥ずかしながら、僕が仕事でミスを連発し、会社から何度も叱責を受け、落ち込んでいた時のことです。

家に帰り、何気なく「もう仕事がしんどい・・・」と呟いた僕に、父は「じゃ、今週末飲みに行こう」と言った。

近所の小さな居酒屋で父とお酒を飲む。家で一緒に飲むことは今までもあったけれど、わざわざ居酒屋に出掛けて、二人でお酒を飲むなんていうのは、今まで一度もなかったことです。



初めてのことで少し緊張したけど、思い切って仕事で悩んでいることなど話をしました。

僕の話をつた黙って聞いていた後、父がこう言った。

「お前が産まれた時、何とも言えない不思議な気持ちになったんだよ。お母さんと結婚して、初めての子どもだったからな。」

この子は、自分たちにとって特別な存在だって思ったし、今でもその気持ちは全然変わっていない。



だから、いくら辛いことがあろうが、苦しいうが、父さんも母さんもお前のことをいつも心配し、大切に思っていることを忘れないでほしい」

その言葉は、仕事でミスが続き、自分に自信を無くし、これからいったい自分はどうしていいのか判らないでいた僕の心にすごく沁みだ。

今でも時々その言葉を思い出し、涙ぐむこともあるけれど、両親の愛情が伝わってきます。

父さん、今も少し苦しいけど、生き辛いけど、あなたの言葉で頑張れるような気がします。必死に人生にしがみついています。

これから先もずーっと、あたたかく見守っててください。

頑張れ！！あなたには百人力の味方がいますから・・・

### 「編集後記」

コロナに振り回されている間に、今年も3月11日が巡ってきました。

私達は「時は流れる」という使い慣れた言い回しをすることがありますが、雪のように降り積もり、「流れない時」もあることを実感します。東日本大震災が発生したあの日、津波に肉親を奪われ、放射線に故郷を追われた人たちにとっては、時計は今も午後2時46分を指して止まったままです。

もう10年、まだ10年・・・思いはそれぞれですが、人は優しくなったのでしょうか、賢くなったのでしょうか？あらためて「絆」の意味を考えています。

今月号もお読みいただき有難うございました。



「やすらぎ通信」をメールでもご覧いただけます。

ご希望の方は、アドレスをお知らせください。

編集責任者 渡辺 田鶴子